　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　別表４

|  |  |
| --- | --- |
| **名　称** | **インターンシップ** |
| **目　標**  **（ねらい）** | ○職場で働く体験を通して、卒業後の生活や職業への関心、自己の適性についての理解を深めるとともに、職業観や勤労観など社会生活における基本的な態度と能力を養います。  ○個々の生徒がもつ適性や課題を把握して、今後の進路先の選択の資料とします。 |
| **対　象** | ○高等部課程１　１年生 |
| **時期（期間）** | ○３学期の２日間 |
| **体験場所** | ○真岡県税事務所 |
| **実施内容** | ○事務的な業務や環境整備を体験します。 |
| **指導体制** | ○体験先の職員に指導を受け、教員も付添指導を行います。 |
| **家庭でしていただきたいこと** | ○体験先へは自力通勤もしくは保護者の方の送迎となります。事前の確認・練習等御協力をお願いします。  ○欠勤や遅刻をする場合には学校への連絡を忘れずにお願いいたします。また、期間中の健康管理には十分な御配慮をお願いいたします。  ○期間中は日誌を使用します。体験の様子について御家庭で話題にしていただき、お子さまの様子や健康状態等を保護者欄へ御記入をお願いします。 |

別表５

|  |  |
| --- | --- |
| **名　称** | **進 路 相 談 会** |
| **目　標**  **（ねらい）** | ○お子さまの実態や将来の希望、保護者の卒業後の意向等について、関係機関職員と共通理解を図ります。  ○就職や福祉サービス利用のための手続きについて、関係機関から説明を受けます。  ○保護者と関係機関の間で、進路に関する質疑応答を行います。 |
| **対　象** | ○高等部３年生と保護者 |
| **期日（期間）** | ○７月下旬（夏季休業中） |
| **場　所** | ○本校高等部教室 |
| **相談出席者** | ○生徒、保護者、お住まいの市町の福祉担当職員、相談支援事業者職員、公共職業安定所職員、障害者就業・生活支援センター職員、担任、副担任 |
| **相談の形式** | ○一般就労を希望する生徒＝職業安定所、就労支援機関との相談  ○福祉施設への進路を希望する生徒＝福祉関係者との相談 |
| **家庭でしていただきたいこと** | ○相談は20分と限られています。御相談になりたい内容を事前に担任とよく御相談の上、簡潔にまとめておいてください。 |